

第 225 回  
定例探鳥会

日時：2005 年 9 月 11 日 (日) 天候：晴れ  
コース：高来神社 高麗山 八俣山 浅間山(一等三角点)

昨日まで2～3日続いていた涼しさはどこへ行ったのか、早朝から蒸し暑い天候になりました。

集合時間前、ポチポチと皆さんが集まり始めた頃、高麗山の稜線をかすめてアオバトが4羽・3羽と飛び去りました。朝日を浴びてお腹の黄色が鮮やかに見えました。

前日のカウント調査では鷹取山でコサメビタキが観察されたので、今日のコースでも期待できそうです。山道を歩き始めましたが、聞こえてくるのはにぎやかなセミの合唱だけで、鳥の声や姿も少なく非常に静かです。大堂の少し手前では、列の後ろの方を歩いていた人たちが4羽のコシアカツバメを見ました。この地域では初認です。大堂の空き地になると、キンミズヒキとミズヒキが一面に咲いて、黄と赤に彩られていました。浅間山の一等三角点まで歩きましたが、期待していたヒタキ類には合えませんでした。

このように出逢う鳥が少ないときには、道の両側に咲いている花をゆっくり観察できます。草花に詳しいメンバーの説明を聞きながら歩けば、ヤマホトトギスのようにめずらしい花を見つけることもできました。

今日の記録は、見聞きした鳥の種類が13種と非常に少なくなっています。最低記録ではありませんが、歴史に残る少なさです。またヒヨドリの姿と声が全く観察されなかったのもめずらしいことです。



参加者			参加人数 26 名 (敬称略)		
1. 下倉 紘一	2. 鈴木 逸子	3. 小島 興一	4. 小島 キヌ子	5. 山田 文則	
6. 山口 くるみ	7. 原田 悠子	8. 窪田 セつ子	9. 朝倉 輝美	10. 山下 一男	
11. 片倉 暹	12. 吉尾 孝	13. 古尾谷 七郎	14. 室野 義晴	15. 別所 三郎	
16. 吉田 宣子	17. 木田 ハマ	18. 八木 正	19. 小野 肇	20. 大谷 秋代	
21. 古河 勝秋	22. 加藤 修一	23. (田端 裕)	24. (内山規矩雄)	25. (金子 典芳)	
26. (岩佐 昌夫)					

見聞きした鳥			種類数 13 種 (sp を含む)		
1. トビ	2. キジバト	3. アオバト	4. ドバト	5. コゲラ	
6. ツバメ	7. コシアカツバメ	8. シジュウカラ	9. ヤマガラ	10. メジロ	
11. スズメ	12. ハシボソガラス	13. ハシブトガラス			

参考：カルガモ (八俣山から花水川を見たときに発見)

# かしの木山自然公園 第3回自然講座

## 金子・斎藤両講師のトークを拝聴してきました【田端 裕】

(9月24日 10:00~12:00)

東京都町田市のかしの木山自然公園の愛護会野鳥部。その活動の中で毎年自然講座を行っており、【かしの木山自然公園自然講座】の講師ということで、第1回が浜口哲一講師、第2回が唐沢孝一講師という後に、第3回の講師としてこまたんが招聘されたのですから、名誉なことでもあります。

この公園は雑木林や草地、湧き水などもある、自然をそのまま残した公園で、その自然環境を保全し、育成活用するための愛護活動を目的とした「かしの木山自然公園愛護会」の方達を中心に、ベンチやテーブルを作ったり、園路や階段の整備、草刈等、市民参加型の公園作りが進められて今日(約20年)に至っているそうです。



その公園の片隅に『自然の家』という、ロッジ風の管理棟が建っています。この2階がこまたんトークの会場で、おしゃべりが始まる頃には悪天にもかかわらず30名余の熱心な聴衆が席を埋めていました。主に金子さんがパワーポイントを駆使して、斎藤さんが要所要所で話の腰を折って笑いのふりかけをかけるという趣向は大受けでした。

こまたんの歩みから始まりアオバトについての紹介をし、あの丹沢繁殖調査の珠玉のビデオを上映しますと、あんな見にくい映像を目を皿にして緑の中からアオバトのフォルムを探そうと、いじらしくも真剣に聴衆は熱中してくれました。講座時間は2時間ですが、アオバトの話になると時間がいくらあっても足りない。その証拠に主力メンバーと昼食をいっしょにしながらか話は弾む弾む。午後2時半までしゃべるしゃべる。私が「夕方からのお泊まり調査は？」と口をはさまなければ、暗くなるまでおそらく話をしていたでしょう。聞いている方もみんな止めようと言わない。スゴイね。町田にもアオバト伝道師が誕生しそうな予感が。

## 話し始めたら止まらない【斎藤常寛】

どんな時でも準備が楽しい。今回の講座のために今までの講演用の資料を再度検討して最新のものに差し替えたり、どんな話を追加しようかと金子さんと事前の打ち合わせをした。その日は朝10:30から始まり昼食もその場所で食べ、席を立ったのはトイレに行った2回ほど。終わったのは18:30。私が用事があるのでそこで終りとなったが、用事がなければもっと話し込んでいたかもしれないほど。こんなものも、あんなものも話そうと二人で盛り上がってしまった(さすがに次の日はぐったり)。

講演をやるたびにこまたんの活動や講演用の資料が充実していき、今回も金子さんの呼びかけの『アオバトの環』の資料をさらに充実させることが出来ました。

講座当日は台風接近で朝から雨模様。参加者は少ないだろうと予想していましたが、雨にもかかわらず会場はほぼ満席に近く、さすがにこの雨での参加者は気合が入っていました。開始前から質問攻めに合い、時間前からすでに始まっているような感じでした。私は時間が読めない男といわれて話し始めたら時間の観念がなくなってしまうので、最近のパターンの”金子さんが進めながら話を振ってもらい話す”という今のやり方が気に入っています。ところが今回は少し異変が！！。

いつもピッチと時間配分していく金子さんにも止まらない病が伝染したのか、前半は予定の半分しかこなせず予定変更(実は私が喋りすぎなんですけどね)。とにかく聞いてくれる方が熱心だとこちらにも巻き込まれてしまう。こまたんらしい講座を考えると、ただ単に淡々と紹介するより、こっちは熱く語るほうが面白いかなと思っています。

とにかくアオバト三昧の一日でした。4時間半も喋っても金子さんと私はまだまだ話し足りない。アオバト集大成講座をまともにとったらすごいことになるんだろうな。



## 第 4 回 BINOS 研究発表会

恒例の BINOS 研究発表会が下記の予定で開催されます。常連のこまたんは「京都御苑のアオバト」という演題で、冬季の京都御苑を調査した結果を発表します。発表者は大阪こまたん(通称:おこまはん)の小山さんと金子さん(繁殖地の補足等)です。持ち時間は 30 分で、アオバトの越冬の詳細な状態が公開されます。県外(大阪府)からの発表者というのは、神奈川支部では初めてのことでないでしょうか?この詳細な論文が掲載されている BINOS 12 号も会場販売されます(1200 円)。入場は無料・自由です。野鳥の会会員以外の方でも参加できます。大勢の来場をお待ちしています。

日時 : 10 月 22 日(土) 14:00 ~ 16:30

会場 : 神奈川近代文学館 (TEL 045-622-6666)

みなとみらい線 - 元町・中華街駅下車 徒歩 8 分

JR 京浜東北線(根岸線) - 石川町駅下車 徒歩 20 分

### 【お知らせ】

#### 定例カウント調査

吉沢 & 土屋 11 月 5 日 (第 1 土曜日)

鷹取山 11 月 12 日 (第 2 土曜日)

**午前 7 時(注意 : 11 月から集合時間が変わります)**に高麗ハイツとなりの駐車場(青空市場)に集合、車で移動します。または 7 時 15 分までに、第 1 土曜日は松岩寺駐車場、第 2 土曜日は東の池に直接来られても結構です。参加の連絡は不要ですが、いずれも時間が来れば出発してしまいますので、時間厳守をお願いします。午前中に解散。雨天中止。

#### 大磯宿場まつり

11 月 6 日(日) 10 時から 15 時まで 大磯町山王町・旧東海道松並木

雨天中止(今年は雨天順延ではありませんのでご注意ください)

今年は第 12 回目です。『あおばとや』は初回から開店している老舗です

#### 大磯文化祭

11 月 19 日(土)・20 日(日) 大磯・滄浪閣

こまたんも出展します。詳細が決まりましたら本紙でお知らせします。

#### 鷹取山・吉沢自然観察会 - 第 51 回市民探鳥会

日時 : 11 月 23 日(水・勤労感謝の日) 9 時 15 分から 雨天中止

コース : 東の池 谷戸川 鷹取山 霧降の滝 松岩寺

集合 : 1) 神奈中バス「生沢」バス停前 東の池 午前 9 時

2) JR 平塚駅北口 地下道降り口付近 午前 8 時 15 分(8:30 発のバスに乗車)

3) 二宮駅南口 8:45 発のバスでも集合時間に間に合います。

持ち物 : お弁当と飲み物(必ず)。双眼鏡、図鑑、筆記用具など

#### 問い合わせ・連絡先

岩佐 昌夫 0463-55-6142 内山 規矩雄 0463-33-4322 金子 典芳 0463-32-5583

## 鳥 報

こまたんメンバーのフィールドでの観察記録から主なものをご紹介します。

### 花水川・平塚大橋付近のサギめぐら調査

観察日	天気	アオサギ	ダイサギ	チュウサギ	アマサギ	コサギ	ゴイサギ	サギ合計
9/2		5	12	56	85	134	18	310
9/9		4	18	48	62	91	6	229
9/13		5	11	30	51	135	15	247
9/16		5	11	28	56	69	9	178
9/17		5	4	15	4	41	12	81
9/19		2	5	10	2	33	14	66
9/21		2	3	10	0	54	11	80
9/23		2	4	6	4	50	4	70
9/25		2	0	12	15	34	3	66
9/26		5	3	12	8	39	5	72
9/27		8	4	32	45	2	7	98
10/2		5	0	2	0	7	1	15

### アオバト情報

#### 照ヶ崎への飛来状況

日付	観察時間		天気	飛来回数	飛 来 数		備 考
	開始	終了			総数	瞬間最大	
9/4	6:00	9:30		14	435	130+	9/25の照ヶ崎連続観察会は台風が近づき、雨と強風に見舞われたが、7時から9時の間に4回・延べ38羽の飛来を観察。
9/19	6:00	9:00		39	623	52	
10/2	5:00	10:00		52	811	75	

#### その他の場所でのアオバトの記録

9/9 6:30 葉山・双子山、声を聞いた

8/30 & 31 千葉県市原市・大福山展望台、4羽の飛翔(30日)、1羽の声(31日)を確認

9/18 8:27 ヤビツ峠、1羽がヒノキの梢にとまっていた。その手前を1羽が丹沢山方向へ飛ぶ

#### その他の野鳥情報

コムクドリ : 9/13 平塚市吉沢・松岩寺、40+羽が西の方へ飛ぶ。9/19にも同じ所で8羽が飛ぶ。

9/16には大井町のいこいの村で180羽程度の群れが足柄平野方向に飛んで行った。

モズ : 9/17 平塚市西真土(5:05)と日向が岡(7:30)で高鳴きを聞いた。今シーズンの初認

コゲラ : 9/27 鷹取山、クモの糸が翼に絡まって宙吊り状態になっていた。5分くらい奮闘して糸を外して脱出渡りの途中のキビタキ、オオルリ、サンコウチョウ、センダイムシクイ、エゾビタキ、コサメビタキが、吉沢・鷹取山・高麗山などで観察されている。

次回の定例探鳥会は2005年11月13日(日)です。午前7時30分 高来神社に集合。

緑鳩(アオバト) 第224号 / 10月号 発行所:こまたん

斎藤 常実 0467-51-3543

岩佐 昌夫 0463-55-6142

こまたんホームページアドレス <http://www.komatan.jp/>

日本野鳥の会神奈川支部ホームページ <http://www.mmjp.or.jp/wbsj-k/>